

資格制度と 人材活用のご案内

— 土壌環境問題の解決をサポートします —



一般社団法人

土壌環境センター

Geo-Environmental Protection Center

土壌環境問題の解決をサポートする資格制度があります。

❗ このようなお悩みはないですか？

Q 土壌汚染調査・対策のスペシャリストを探したい

A 土壌環境監理士

調査から対策まで総合的に監理するための最上位の監理技術者資格です。土壌・地下水汚染に係る調査・対策に関する正しい知識・判断力を備えたスペシャリストが、問題解決に向け適切なサポートをします。



Q 信頼できる施工業者に調査・対策工事を発注したい

A 土壌環境保全士

調査や対策工事実施にあたっての現場管理者としての資格です。土壌・地下水汚染の調査・対策工事に携わる現場管理者、作業者が備えるべき知識を持ち、調査・対策工事を安全かつ確実に実施します。



Q 土壌環境のリスクに関する知識を持って安全・安心な土地の管理を行いたい

A 土壌環境リスク管理者

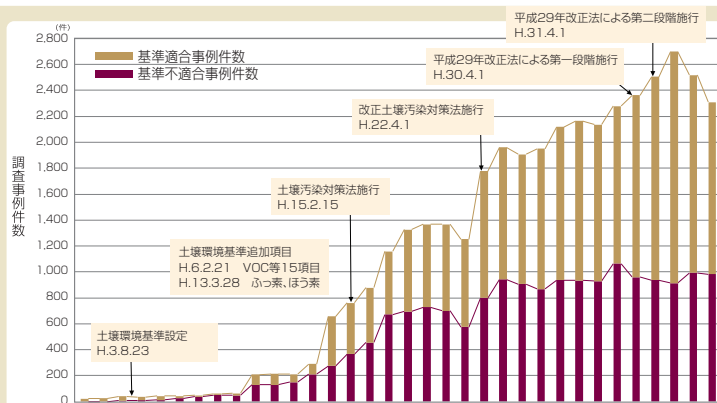
工場敷地や保有する不動産の管理者としての資格です。土壌環境の汚染やリスクの状況を自ら把握するための基本的知識を持ち、土壌・地下水汚染の未然防止や土地の資産価値の維持向上を図ります。



増え続ける 土壌汚染調査件数

平成15年の土壌汚染対策法施行とともに急激な右肩上がり
で土壌汚染の調査件数が増加しています。

令和4年度土壌汚染対策法の施行状況及び土壌汚染調査・対策事例等に関する調査結果（出典：環境省水・大気環境局）



信頼される3資格が、 それぞれの立場で貢献します。

土壌環境監理士

- 調査・対策の計画、総合監理
- 技術者の教育・指導

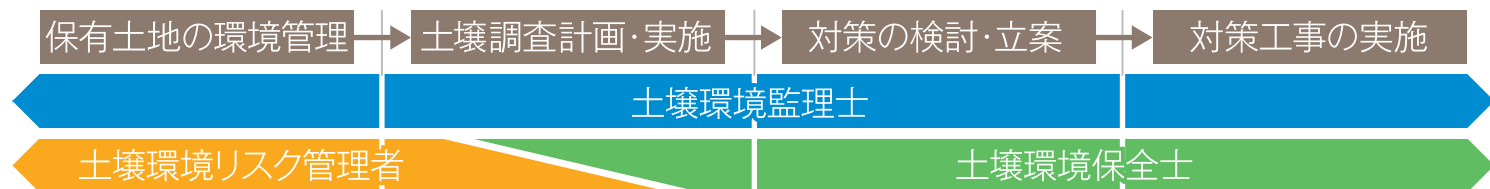
土壌環境 リスク管理者

- 土壌環境リスクの評価
- 土壌・地下水汚染の未然防止

土壌環境保全士

- 土壌調査、対策の現場管理
(安全・環境・品質)

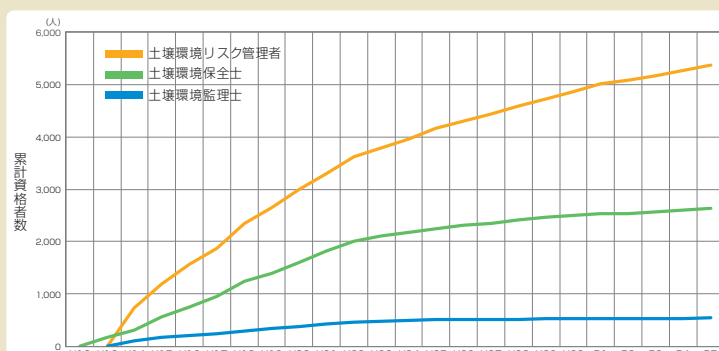
① 各資格の対応対象範囲



土壌汚染顕在化のニーズに応じて 各資格者も増加

土壌・地下水汚染は見た目では把握できないことや、対象汚染物質や地盤や地下水の状況が関係し非常に難解で複雑な問題です。そのため、専門的な知識を備えた各資格者が土壌・地下水汚染で困っている事業者等の技術的パートナーやサポーターとして活躍しています。

各資格の資格保有者数の変遷(令和6年度4月現在)



● 土壌汚染調査・対策の スペシャリスト

● 土壌環境監理士

国土交通省の「公共工事に関する調査及び設計等の品質確保に資する技術者資格」に登録（令和4年2月）
この資格制度は、土壌・地下水環境保全分野で社会に信頼されうる人材を土壌環境管理士と認定し、継続的な研鑽を義務付け、この分野での技術の向上と発展に寄与することを目的としています。

認定方法：筆記および面接試験により認定（年1回実施）

資格有効期限：3年

更新要件：①、②または③のいずれか

- ① 土壌環境センターが関与するセミナー・講習会等への3回以上の参加
- ② センターが関与するセミナー等の開催地から遠方に居住する者については、センターが①と同等と認めたセミナー・講習会等への3回以上の参加
- ③ ①または②への2回の参加＋技術管理者更新講習の受講またはレポートの提出

累計認定者：令和6年4月現在 ⇒ 542人（約230社に在籍）



🔍 専門知識と経験

土壌環境監理士は、実務経験3年以上と指定する資格保有を受験要件とし、

以下の幅広い項目に関する筆記および面接試験に合格し、登録された人材です。

（指定資格については、（一社）土壌環境センターホームページ「土壌環境監理士」資格認定試験についてをご覧ください。）

- 現場作業者と周辺環境の安全
- 土壌・地下水汚染関連法および関係する法律等
- 土壌・地下水汚染による環境リスク（健康、生活）
- 土壌・地下水汚染の調査対策実施における周辺環境保全
- 水文・水理地質および汚染物質等
- サイトの特性、調査の目的を踏まえた適切な調査計画
- 調査実施に必要な機器に関する知識と適切な調査・分析方法
- 汚染実態等に関する適切な判断
- 条件（費用配慮、環境配慮を含める）に応じた適切な対策手法
- 対策工法についての知識
- 浄化完了を適切に確認するために必要な知識
- 住民、発注者、施工者、行政とのコミュニケーションの方法



受験状況

職務内容

- ① 土壌・地下水汚染に係る調査の信頼性が確保されるように監理すること
- ② 土壌・地下水汚染に係る対策が適切に実施されるように監理すること
- ③ 土壌・地下水汚染に係る調査・対策に携わる人材を育成・指導すること

活用事例

〔入札仕様書や特記仕様書などで信頼性確保のために〕

- 土壌汚染調査業務の委託にあたって、計画・監理する人材として
- 浄化対策工事の発注にあたって、計画・監理する人材として

〔組織の技術力評価のために〕

- 調査・対策会社としての技術力を証明
- 調査や対策を指導し、組織の技術力を維持向上

安全で確実な 施工管理を実施

● 土壌環境保全士

この資格制度は、土壌・地下水汚染に関する工事の安全・品質管理について十分な知識を有し、調査・対策工事現場を適切に管理できる人材を土壌環境保全士と認定するとともに、継続的な研鑽を義務付け、この分野での技術の向上と発展に寄与することを目的としています。

認定方法：講義および認定試験により認定（3日：年1回実施）

資格有効期限：3年

更新要件：リフレッシュ講習（WEB講習（オンデマンド））

の受講（1日：年3回実施）

累計認定者：令和6年4月現在 2,644人（約860社に在籍）



🕒 専門知識と経験

土壌環境保全士は、以下の幅広い項目に関する講義を履修し、認定試験に合格し、登録された人材です。

- 関係法規制
- 調査・対策の基礎知識
- 現場での作業における危険性
- 有害物質等とその危険性
- 労働安全衛生保護具
- 現場安全衛生計画



講習状況

土壌環境 保全士

講習会テキスト

令和2年2月

監修 平田 健正

一般社団法人
土壌環境センター

職務内容

- ① 土壌・地下水汚染現場における現場管理や作業者の労働安全を確保すること
- ② 土壌・地下水汚染現場における汚染拡大防止等、周辺環境に配慮すること
- ③ 土壌・地下水汚染に係る調査・対策の技術水準の保持等、品質を管理すること

活用事例

〔入札仕様書や特記仕様書などで信頼性確保のために〕

- 土壌汚染調査業務の委託にあたって、施工管理する人材として
- 浄化対策工事の発注にあたって、施工管理する人材として

〔組織の技術力評価のために〕

- 調査・対策会社としての施工管理能力を証明
- 調査や対策の実施における安全・品質の確保

● 所有地の安全・安心な 維持管理

● 土壌環境リスク管理者

環境保全活動・環境教育推進法に基づく
環境大臣登録人材育成事業

この資格制度は、事業敷地内等の土地の資産価値を維持向上させるため、基礎的知識を持つ人材を土壌環境リスク管理者と認定し、この分野での技術の向上と発展に貢献することを目的としています。

認定方法：講義および認定試験により認定（2日：年1回実施）
累計認定者：令和6年4月現在 ⇒ 5,365人（約 1,590社に在籍）



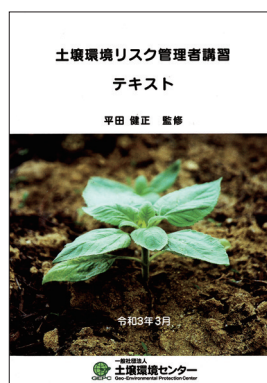
🕒 専門知識と経験

土壌環境リスク管理者は、以下の幅広い項目に関する講義を履修し、認定試験に合格し、登録された人材です。

- 土壌環境リスクの評価と診断
- 環境サイトアセスメントの進め方
- 資料調査、現地のヒヤリング内容
- 土壌・地下水汚染の基礎知識（調査・対策）



講習状況



職務内容

土地の資産価値を維持向上させるために

- ① 土壌環境の汚染やリスクを把握すること
- ② 周辺への土壌・地下水汚染を未然に防止すること

活用事例

〔保有する不動産の管理や土地取引の信頼性確保のために〕

- 土壌環境リスクを管理する人材として
- 評価リスクに応じて、土壌汚染を未然防止する人材として
- 土壌汚染調査・対策の発注業務を行う人材として

〔組織内教育のために〕

- 土壌環境問題に関する幅広い知識を取得する場として講習制度の利用
- リスク管理に関する組織内教育の指導者として資格取得者の活用

① GEPC資格者検索システムのご案内

「GEPC資格者検索システム」は、「土壌環境監理士」、「土壌環境保全士」および「土壌環境リスク管理者」のそれぞれについて、その資格者の氏名、会社名、営業範囲などの情報を検索して閲覧することができるシステムです。

その特長は次のとおりです。

1

数千人に及ぶ資格者の中から、必要とする条件に合った資格者を検索して閲覧することができます。たとえば、「〇〇県で営業している土壌環境監理士のいる会社は?」といった疑問にお応えすることができます。

2

操作は簡単です。(一社)土壌環境センターのホームページ(下記参照)から「資格者検索入口はこちら」というボタンを押すと、直ちに検索の画面が表示されます。
必要とする項目を選び語句を記入するだけで、検索をすることができます。

3

検索できる項目は次のとおりです。

氏名.....(漢字でもフリガナでも検索可)

所属先名称.....(会社名、団体名など、名称の一部でも検索可)

所属先住所.....(都道府県名でも市町村名でも検索可)

営業範囲.....(都道府県名を指定して検索可)

4

検索した資格者に対してメールを出し相談することができます。
(ただしメールアドレスは表示されません。個人情報保護のためです。)

5

検索では、資格者本人が公開を承認したものだけが対象となり
閲覧ができます。個人情報保護にも十分配慮しています。



① 資格制度についてのご案内

資格制度・試験のご案内・GEPC資格者検索システムについての詳しい情報は
ホームページにてご覧いただけます。是非ご活用下さい。

<https://www.gepc.or.jp>

お問い合わせ

一般社団法人 土壌環境センター
資格制度事務局

〒102-0083 東京都千代田区麹町4-5 KSビル3階
Tel: 03-5215-5955 Fax: 03-5215-5954



ご案内

地下鉄 有楽町線「麹町駅」 徒歩1分
 半蔵門線「半蔵門駅」 徒歩7分
 丸ノ内線「四ツ谷駅」 徒歩9分
 南北線 「四ツ谷駅」 徒歩9分

J R 中央線「四ツ谷駅」 徒歩9分



一般社団法人

土壌環境センター

Geo-Environmental Protection Center

〒102-0083 東京都千代田区麹町4-5 KSビル3階

Tel : 03-5215-5955 Fax : 03-5215-5954

URL : <https://www.gepc.or.jp>



古紙パルプ配合率70%再生紙を使用



2024.6.1200